

久山中便り

久山中学校

令和8年2月27日発行

第76号

「超えてゆけ」

三年生合唱

卒業式の練習が始まっています。厳粛で、厳かな中にも、凜とした雰囲気漂う練習です。見どころは、合唱。

今年度は、卒業式後に、合唱披露を行います。曲は「超えてゆけ」。

調べてみると、この曲は、別れと旅立ちの寂しさを乗り越え、新しい自分へ向かって一歩踏み出す決意を描いた歌とのこと。重なる時間や風を背に、前を向いて進む前向きなメッセージが込められており、卒業式で背中を押す歌として人気だとも示してありました。

三年生の中学校生活の最後の曲としてふさわしく、練習から、その声に思いが込められています。

受験を控えて忙しい中でも、快く引き受けてくれた伴奏者。本当に感謝です。

さらに、歌唱に磨きをかけて、本番では保護者、地域の皆さん、先生方に感動を届けてくれることを期待しています。

朝の班会議（二年生）

二年生は、修学旅行前から、朝の班会議を続けています。

目的は、「班長のリーダーとしての自覚を高めること」「班の連帯感を醸成すること」「班内での連絡によって見通しをもって一日を過ごすこと」とされています。

事前に、先生方が示した日案をもとに、その日の連絡を班内で行い、できるだけ先生からの連絡伝達を少なくします。これも自分たちで考えて行動することにつながります。

班内での情報共有は、お互いに顔を見合わせで行うため、友達間での健康観察にもつながっているようです。（先生が顔色を見なくても、班内で様子がわかるようです。）

従来の「朝の会」は、司会者がお決まりの順序で行っていましたので、やや退屈でした。

しかし、この朝の班会議に代わり、お互いに元気の出る時間となりつつあるようです。

二年生のこの取組が全校にも広まっていけばと考えています。



吹奏楽部に外部指導者

令和8年から吹奏楽部に外部指導者が来校されています。毎週、来校されるというところまではいきませんが、定期的な指導に来ていただきます。

これまでも、顧問の先生から指導されてきましたが、新たな指導者をお迎えしての活動となります。（これまでの顧問の先生も指導していただきます。）

顧問の先生方の業務軽減もありますが、異なる楽器を多数扱う吹奏楽では、それぞれの楽器の指導も一つ一つ違うようです。

例えば、トロンボーンは、「人間の声に最も近い楽器とも評され、柔らかく厚みのある中低音が魅力」。クラリネットは、「木管楽器で、柔らかく温かい音色が最大の特徴」とのこと。（生成AI調べによる）

人数は多くない吹奏楽部ですが、「卒業式・入学式・体育会」には、欠かせない存在。さらに「祭りひさやま」「夏の演奏会」でも演奏を披露しています。

各楽器の特徴を把握し、美しい音色と調和のとれた演奏を、今後も期待しています。

